

## 広報委員の思い出

山口県医師会の広報委員（以前の名称は編集委員）を、平成 10 年（1998 年）4 月から担当して、今月ー平成 30 年（2018 年）6 月ーまで務めました。岩国・玖珂・柳井地区からの委員です。最後の「飄々」の執筆にあたり、広報委員としての思い出を、いくつか述べます。

これまでの担当理事は、平成 10 年度は柏村皓一先生（故人）で、その後は順に東良輝先生、吉本正博先生、加藤欣士郎先生、田中義人先生、林弘人先生、現在は今村孝子先生です。会報担当の事務は、5 名の職員がかかわられました。ご一緒した広報委員は多士済々で、現在は産婦人科・消化器科・耳鼻科・内科・眼科・精神科の先生です。

広報委員としての生活は、居心地が良かったのか、楽しく学び深く考えた、あっという間の 20 年間余りでした（46 歳～66 歳）。広報委員会（以前の名称は編集委員会）は、概ね毎月第一木曜日の午後 3 時から開催されました。場所は山口県医師会の図書室（山口県総合保健会館 6 階）です。いつもは自家用車で出席します。岩国から片道約 100Km で、山陽道を通って 1 時間 40 分くらいかかります。会議は 1 時間くらいですが、ときに延長もありました。自宅に帰り着くのは、寄り道しなければ、午後 6 時前でした。ときどき帰りに寄り道して、山口県立美術館でゴッホや浮世絵などの展覧会をみました。また、山口県立図書館や山口大学総合図書館に寄って、歴史の調べものもしました。

現在のような会報の発行体制になったのは、平

飄

々

広報委員

吉岡 達生

成 17 年 1 月号からです。何年か議論を重ねて、やっと現在のように、会報の発行を月 3 回から月 1 回にし、サイズを B5 判から A4 判へと大きくしました。なお、発行にかかる予算は大幅に減少しました。このような紙媒体は、これからは古くなり減っていきそうですが、私のようなアナログ人間は紙媒体が一番です。

基本的に広報委員会では、できるだけ多くの会員からの投稿を待っています。しかし、投稿原稿に問題があると、何回も長時間にわたって採否を議論したこともあります。不適切な内容では抗議が来る可能性もあり、写真では著作権の問題もあります。原稿の訂正や不採用で、気分を害された会員もおられるでしょうが、ご了承ください。事前にチェックして、お詫びや訂正がないように心がけました。それでも何回か問題はありました。

随筆「飄々」は、8 か月に 1 回くらい担当しました。新聞・週刊誌や新書・単行本からの題材探しも、懐かしい思い出です。植物・アジサイや歌手の南沙織さんについても書きました。どうしてもネタがないときは、趣味の歴史（岩国の地方史など）や漢詩文で、原稿を書きました。そのお陰で、逆に岩国の地方史研究がはかどって、『初代大審院長 玉乃世履 一年譜ー』を私家版で上梓（平成 14 年 9 月）し、岩国出身の「今田東先生の生涯と業績 ー明治前期の解剖学者ー」（『山口県医師会報』第 1780・1781・1782・1787・1788 号）の論文を完成させました。広報委員でなければ、もともと怠惰な性格ですから、いまだに書きあげていなかったでしょう。なお、なかなか止め

られなかったタバコも、平成 22 年 10 月には禁煙しました。

新都市医師会長のインタビューや都市医師会長会議・代議員会の傍聴記など通常は経験しないことも担当し、経済学の宇沢弘文 先生（文化勲章受章者）の講演・座談会も面白い企画でした。

最後に、医師会員の皆様には、山口県医師会の広報委員に推薦される機会があれば、是非とも担当してみてください。日常診療とは違う分野を学ぶことができ、大いに刺激され、リフレッシュされることでしょう。

## 日医 FAX ニュース

### 2018 年（平成 30 年）5 月 29 日 2700 号

- 働き方改革法案、衆院厚労委で可決
- 社会保障見直し、医療費伸びに疑問も
- 医師の働き方テーマに日医と意見交換
- 自治体がん検診の推奨年齢を再検討へ
- 「高濃度乳房」への対応で通知
- プレパンワクチン、H7N9 株に切り替えへ

### 2018 年（平成 30 年）5 月 25 日 2699 号

- 医師養成、「22 年度以降は定員減の議論」
- 医療・介護給付費、2040 年度 93 兆円前後
- 在宅自己注射の対象薬剤運用基準修正
- かかりつけ医機能応用研修、全国で受講

### 2018 年（平成 30 年）5 月 22 日 2698 号

- 特殊性の理解得る重要性などを確認
- 医療法・医師法改正案を可決
- 社会保障費「目安達成も、PB 悪化」
- 「タミフル」10 代の使用制限、撤回へ
- 「シングリックス」の定期接種化を議論
- 流行性角結膜炎、状況が改善

### 2018 年（平成 30 年）5 月 18 日 2697 号

- 偏在是正で「一步前進、さらなる対策を」
- 調整会議の活性化でアドバイザー育成
- 『適正処方の手引き（2）認知症』作成
- AMS の手引き改正案を議論

### 2018 年（平成 30 年）5 月 15 日 2696 号

- 急激な変革「反動が大きい」
- 医師の時間外「特別条項の特例必要」
- 「条件付き」「先駆け」、注文相次ぐ
- 医療機関の勤務者「麻疹の予防接種を」

### 2018 年（平成 30 年）5 月 11 日 2695 号

- 給付率自動調整「あまりにも無責任」
- 外国人医療対策を議論、7 月に対策会議
- 持続可能な社会保障へ「不断の改革」
- 広告規制の新 GL 通知、改正省令も公布
- 次世代医療基盤法、11 日に施行
- 臨床実習の医行為でパブコメ募集

### 2018 年（平成 30 年）4 月 27 日 2694 号

- 働き方改革、日医検討会議が議論開始
- 20 年度改定に向け付帯意見の対応案了承
- 地域加算の経過措置延長を了承
- 臨床実習の医行為「必須」と「推奨」